

確かな学力と豊かな感性をはぐくむ情報教育

ファーストメディア，スローメディアともに活用して

名古屋市情報教育研究会会長

村井喜市（振甫中）



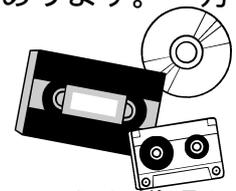
私たちの研究会は，昨年度，「視聴覚教育研究会」から「情報教育研究会」に名称を変更しました。

「情報教育」といいますと，多くの方は，IT教育(ICT教育)をイメージされます。私たち情報教育研究会が取り組んでいるのは，視聴覚教育，放送教育，教育工学，IT教育などを統合して「広義の情報教育」です。したがって，活用するメディアも，インターネットから写真・映画までのすべての情報メディアにわたっています。

さて，「ファーストメディア」「スローメディア」という言葉が一般に使われているのかわかりません。私は，ファーストフード，スローフードになぞらえて使っています。

ファーストフードには，手軽さ，安さに特徴があります。一方，スローフードには，独自の味わいやぬくもりに特徴があると思います。どちらも，現代の生活に必要なものとなっています。

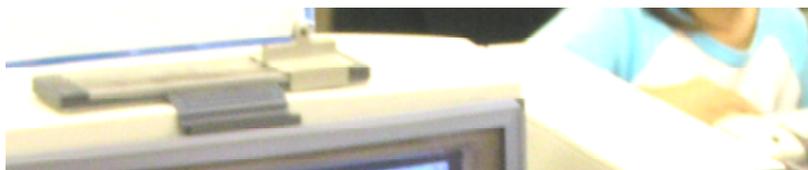
「ファーストメディア」の例としては，インターネットのサイトをあげることができると思います。だれもが，最新の情報を速やかに入手できる点に特徴があります。一方，「スローメディア」の例としては，映画をはじめとする視聴覚教材をあげることができると思います。作品数に限りがありますが，よりていねいに作られており，情緒面の効果も優れています。



「情報」とは，「情」(なさけ)の「報」(しらせ)と書く。かつて，そのような説明を受けました。情報社会においては，「ファーストメディア」「スローメディア」とともに必要であり，それぞれの特徴を生かした利用が望まれます。授業においても，「ファーストメディア」「スローメディア」それぞれのよさを生かしていきたいものです。

情報社会において，子どもたちには，多種多様な情報の中から必要な情報を選択し，問題解決に活用し，その結果を人に伝える能力，すなわち，情報社会を生き抜く「確かな学力」が求められます。あわせて，変化の激しい情報社会において，他を思いやり，主体的・創造的に生きるための「豊かな感性」も培っていかねばなりません。

私たちは，情報教育を通して，子どもたちに学ぶことの楽しさを経験させ，「確かな学力」と「豊かな感性」とをはぐくむ実践研究を続けています。今後とも，本研究会へのご理解，ご協力を賜りますようお願いいたします。



「見つける楽しさ、わかる喜び、 そしてあふれる感動」 —確かな学力と豊かな感性をはぐくむ情報教育—



研究副部長 中井敏勝(守山中)

名古屋市情報教育支援サイト
「くすのきネットなごや」
を活用した授業場面

「感動いっぱい」の授業

子どもたちの瞳が感動できらきら輝いたとき、授業をしている私たちの心も一緒に感動します。日常の授業の中にはほんの少し「情報教育」の要素を取り入れるだけで、日常見たり聞いたりできないことに触れたり、遠く離れた人と一緒に授業ができたりします。その瞬間、子どもたちの瞳がきらきら輝きます。ITを活用した授業は学校という限定された学習環境を越えて、子どもたちに「あふれる感動」を与えてくれます。

今日からできる「情報教育」

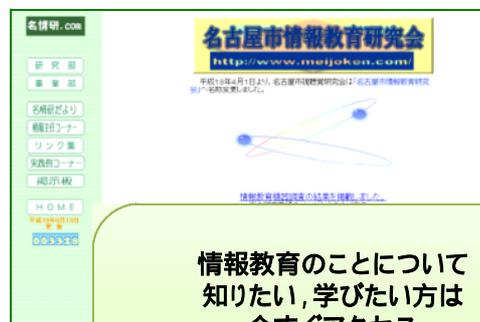
本研究会のホームページには「確かな学力」と「豊かな感性」をはぐくむ情報教育の実践事例を豊富に用意させていただきました。今日から授業に使える素材が満載です。

また、本研究会では、情報教育をやってみたいとお考えの先生方のためにさまざまな研修会を行い、サポートしております。詳細につきましてはホームページをご覧ください。

今、求められる 「確かな学力」と「情報教育」

情報教育は情報教育独自で存在するものではありません。学校生活のあらゆる場面で活用できるものであり、教科の枠もありません。

子どもたちが授業の中で課題を解決していく過程では、たくさんの情報の中から自分に必要な情報を選択し、主体的に自らの考えを築き上げ、発信していく力を養うことが必要であり、それは「確かな学力」を築く具体的な方策の一つと考えています。この「選択 築き 発信」の学習の流れが情報教育の基本です。



情報教育のことについて
知りたい、学びたい方は
今すぐアクセス

名情研

検索

<http://www.meijoken.com/>